

48 ハマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

Calidris alpina

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: NT

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリア、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極ソンドラで繁殖し、繁殖後は温帯から熱帯域に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。干潟や湖沼、湿地、河川の植生のない水際、水田などに生息する。貝類やゴカイ類、甲殻類、ミズ類、昆虫類の幼虫などを採食する。

国内分布

本州、九州



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、★高砂市、三田市、加西市、丹波市、南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では8-翌5月に生息する。県南部では、かつては春秋の渡りの時期に200-500羽の群れが見られていた。1974年4月には西宮市甲子園浜で2,000羽の大群が記録され、1988年には1,000羽単位の越冬群も記録されている。近年の生息地の消滅に伴い個体数が減少している。県北部でも記録されるが多くはない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全が重要。また、生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理も重要。